

KEKにおける J-PARCセンターの機能と役割について

高エネルギー加速器研究機構
機構長 鈴木厚人

KEKにおけるJ-PARCセンター運営への取組み

KEKにおいては、J-PARCを機構が総力を挙げて推進すべきプロジェクトと位置付け、2研究所、2施設に加えてJ-PARCセンターを設置し、JAEAと共同で運営。機構長は、J-PARC運営会議の決定を尊重。

○ J-PARC推進の考え方

- KEKにおいては、プロジェクトを推進するに当たり、機構長が限られた人員・予算を組織横断的に配分することにより、世界最高水準の成果を出してきている。J-PARC推進に当たっても、これまでKEKで培ってきた体制の下に、機構長が人員・予算を最適配置することにより取組んでいるところ。
また、JAEAと協定を結んで、J-PARCセンター長の下で円滑な運営を図っているところ。
- J-PARCにおける優れた成果創出のために、大学共同利用方式が、特に基礎科学分野においては極めて有効であり、KEKはそれに対して責務がある。
一方、JAEAが進める施設共用などの方式との融合を図り、シナジー効果が出るように鋭意検討しているところ。

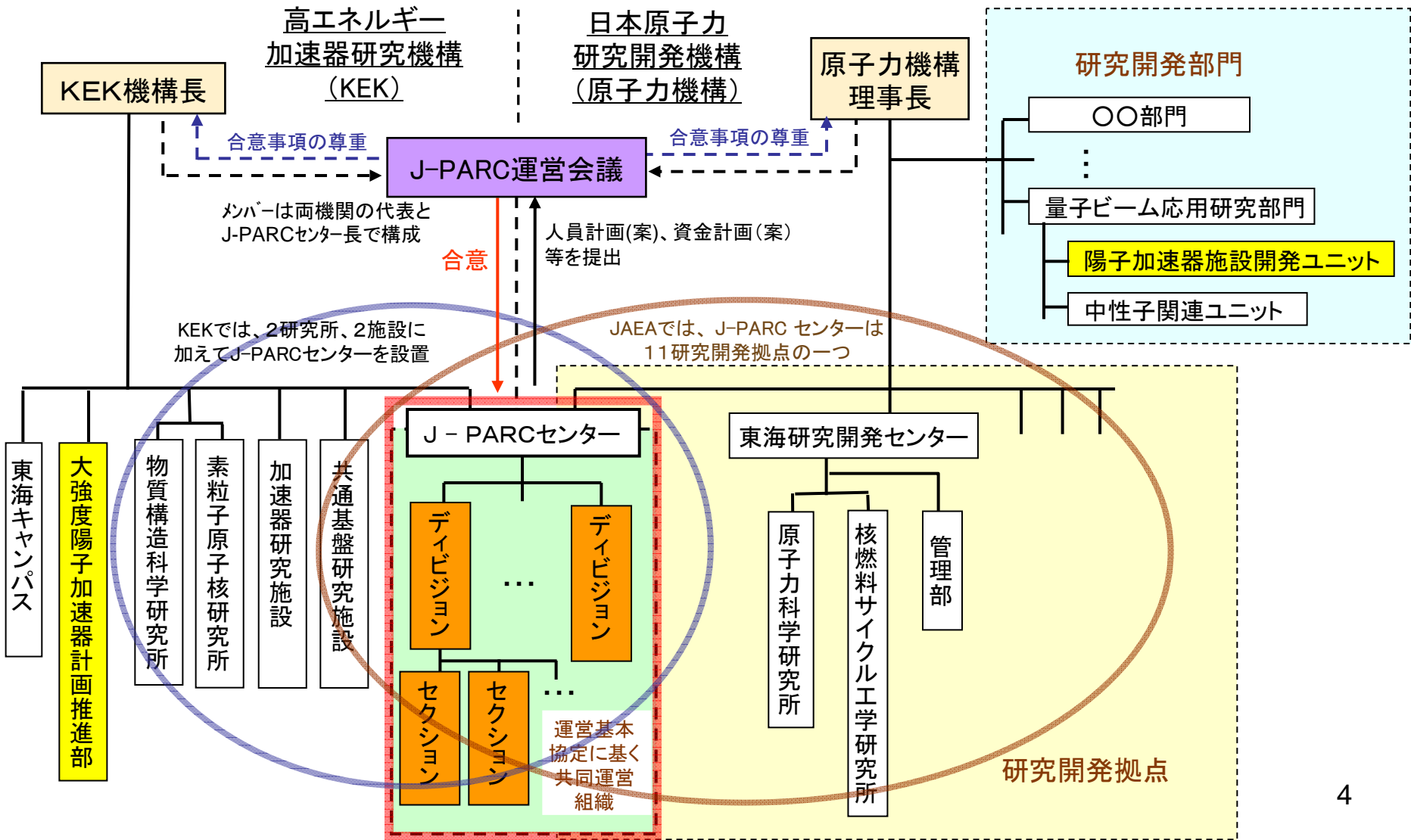
○ 人員・人事

- 人員計画(案)は、KEK所長会議(J-PARCセンター長もメンバー)で検討したうえで、J-PARCセンター長がJ-PARC運営会議(J-PARCセンター長もメンバー。以下、「運営会議」)に提出。
機構長は、運営会議の合意を尊重し、決定。
センター員は、センター業務に関してセンター長の指示に従う。

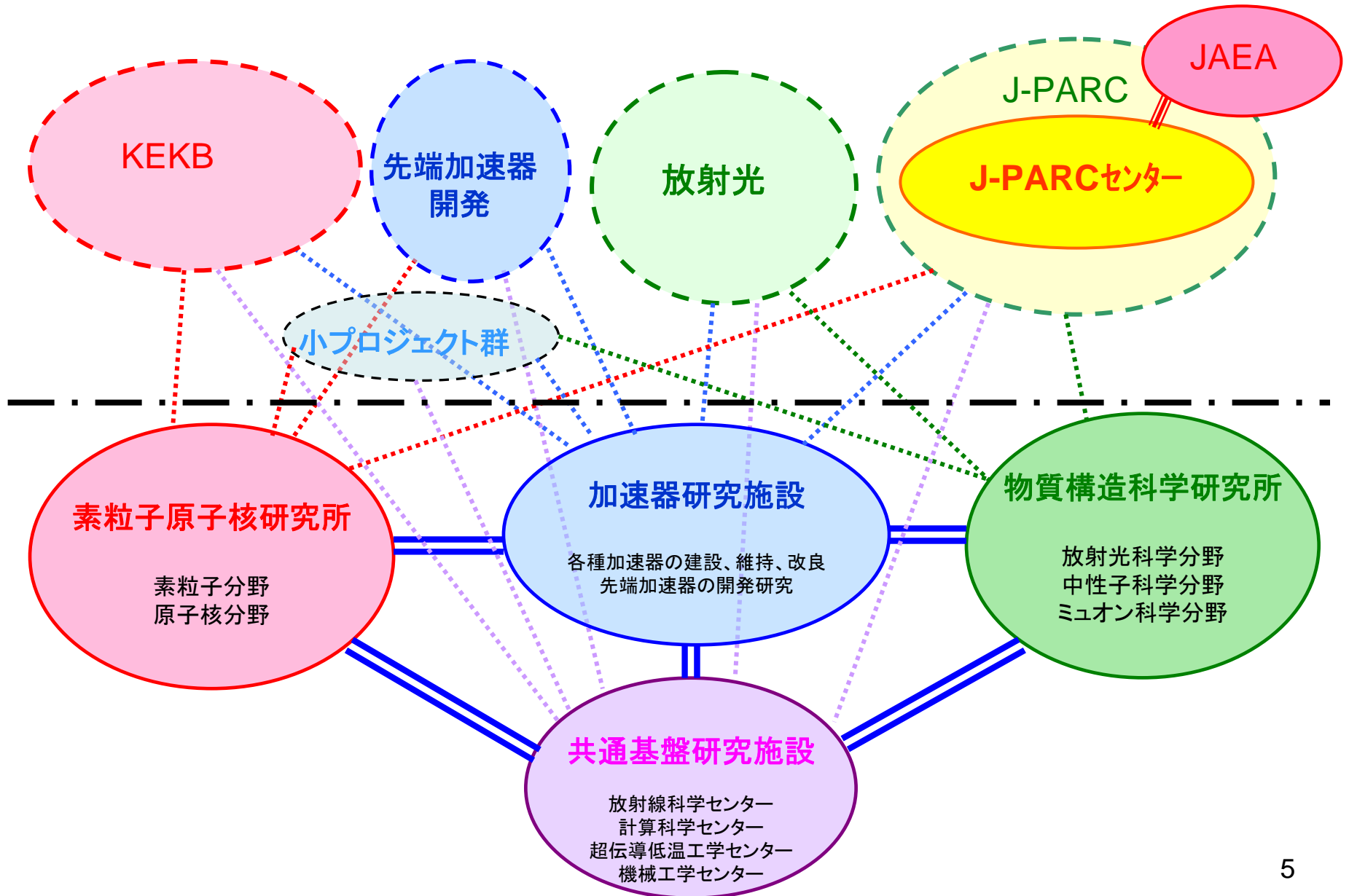
○ 予算

- 予算要求、実行予算等の資金計画(案)は、KEK所長会議(J-PARCセンター長もメンバー)で検討したうえで、J-PARCセンター長が運営会議(J-PARCセンター長もメンバー)に提出。
機構長は、運営会議の合意を尊重し、決定。
執行については、運営会議の了承の下にセンター長が行う。

両機関におけるJ-PARC センターの位置付け

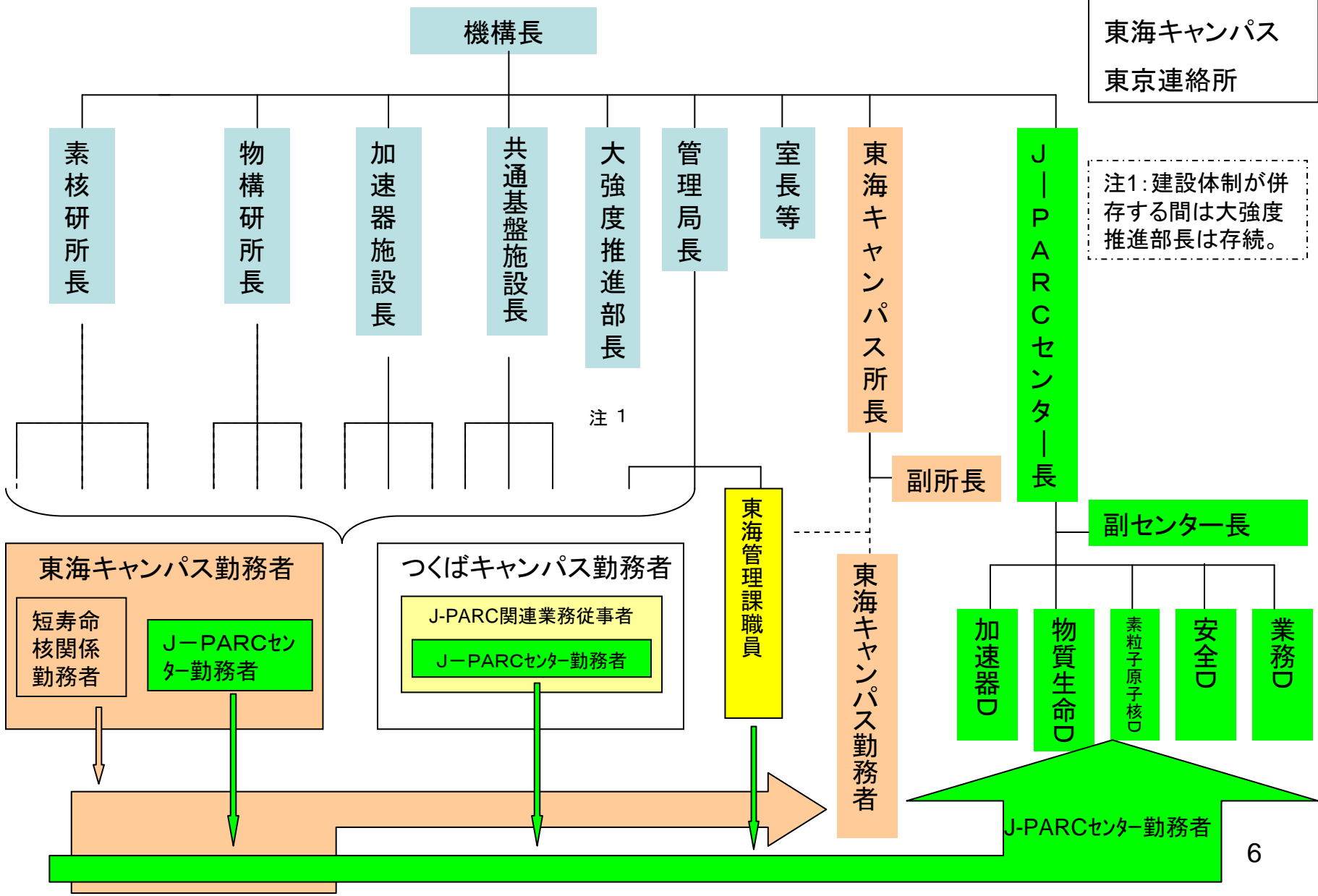


KEKにおけるプロジェクト推進(イメージ図)



KEK組織と職員の構成のイメージ

[機構の事務所]
つくばキャンパス
東海キャンパス
東京連絡所



注 1

注1: 建設体制が併存する間は大強度推進部長は存続。

KEKにおけるJ-PARC関連業務従事職員数 及びJ-PARCセンター勤務者数

(平成19年4月1日現在)

研究所・施設等名	KEK 職員数	J-PARC関連 業務従事者数	J-PARCセンター 勤務者数
素粒子原子核研究所	150	76 【64】	76 【64】
物質構造科学研究所	98	20 【20】	20 【14】
加速器研究施設	188	81 【71】	36 【36】
共通基盤研究施設	77	35 【16】	7 【 6】
大強度陽子加速器計画推進部	15	15 【15】	14 【13】
管理局【東海管理課】 (東海キャンパス安全衛生推進室を含む)	12	12 【12】	12 【12】
その他(東海管理課以外の管理局等)	148	—	10 【 3】
計	688	239 【198】	175 【148】

- (注) 1. 【 】内は、専任率を乗じたマンパワー換算数
 2. 「J-PARC関連業務従事者数」及び「J-PARCセンター勤務者数」は平成19年4月1日現在の数字であり、今後、J-PARCの進展によって増員が見込まれる。
 3. 今後は、J-PARCにおける加速器への関与について一層の充実を図ることとしている。